



植 物 (No.1)

富士市には、種子植物だけでも、およそ1,000種類以上もあります。こんなに種類が多いのは、気候が恵まれているだけでなく、日本の最高峰である富士山、それよりずっと古い時代にできた愛鷹山、それに広大な浮島ヶ原などがあり、高山の植物、海岸の植物、草原、沼地と、さまざまな植物を見ることができるからです。

富士山の風衝樹型ふうしょうじゅけい

富士山が独立した山であることは、五合目付近のカラマツなどの樹型にも関係しています。下から吹き上げる強い風のために、一方向にのみ枝を伸ばしたカラマツがそうです。これを、その形から旗形樹型（きけいじゅけい）と呼んでいます。また、低く地をほうのように枝を広げているカラマツもあります。これはテーブル状樹型といい、やはり強風のためにできた風衝形です。テーブル状樹型のカラマツは、その形から、ハイマツとまちがえられますが、富士山にはハイマツはありません。カラマツのほか、ダケカンバやミヤマヤナギなども同じ形をつくっています。



【旗形樹型カラマツ】



【テーブル状樹型カラマツ】

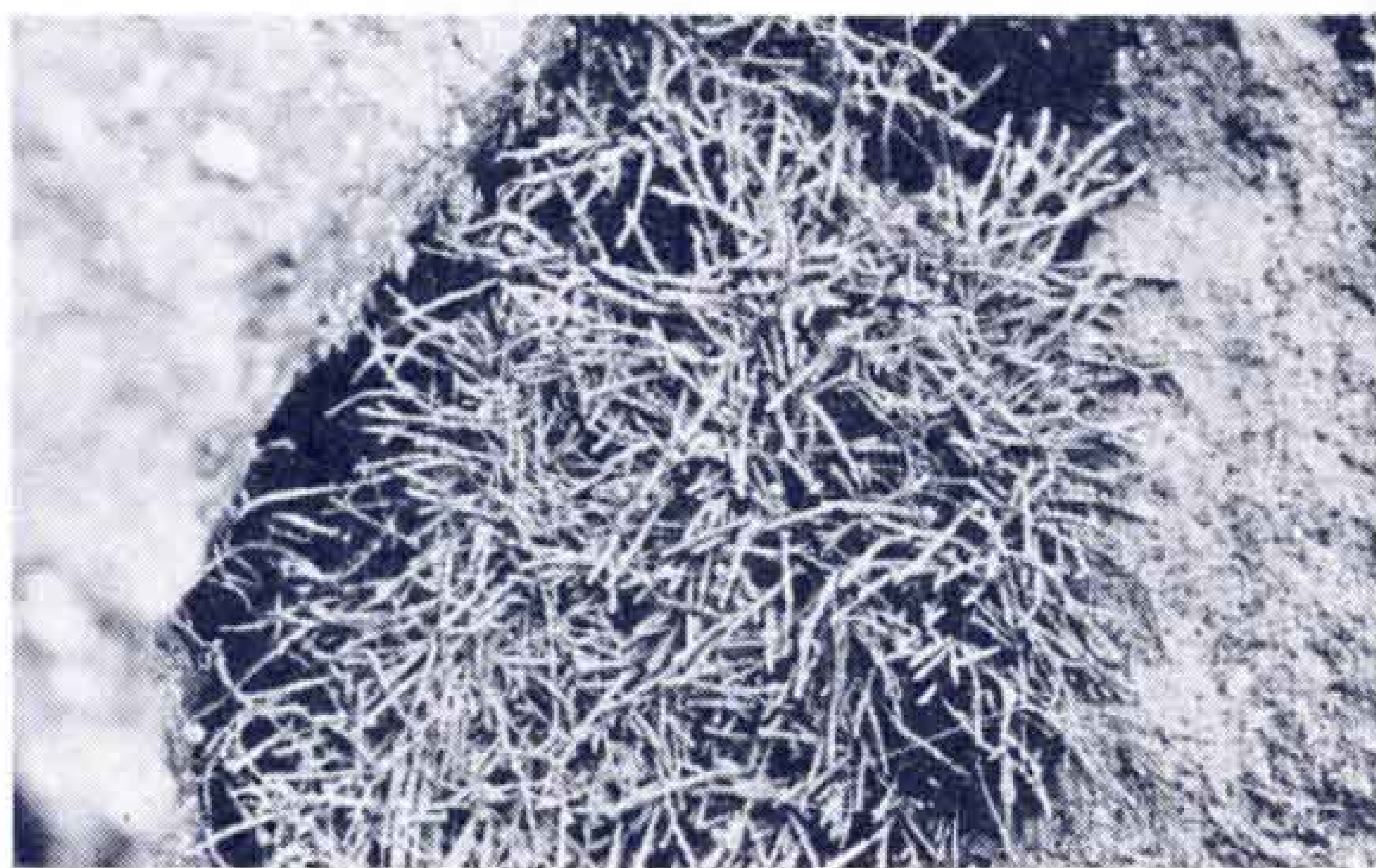
【富士山の高山植物】

富士山は日本一高い山ですが、日本アルプスなどでみられる高山植物のお花畑がありません。これは、富士山のできた年代が新しいことと関係があります。

一般に高山植物といわれているものは、1万年以上も前の氷河期に生育していた植物が、気候が暖かくなったため、高山にとり残されたものと考えられています。ところが、富士山のできた時代がこれより新しいため、高山植物が少ないのです。さらに、富士山は、まわりの山々から離なれていて独立した山であることや、ごろごろした溶岩ばかりで、植物が育ちにくいことも関係しています。



ムラサキモンズメル（マメ科）……富士山五合目付近の砂れき地に生える多年草。日本では、数カ所に生えているだけでめずらしい植物。花はムラサキ色。



イワヒゲ（ツツジ科）……姿からはとてもツツジ科の植物とは思えないが、7月頃にはかわいいつりがね形の花を咲かせる。

あなたもひとこと

みなさんの、ご意見、ご要望を「市長への手紙」でお出してください。

用紙は市役所、各公民館など、市の公共施設にあります。手紙は切手をはらずに、ご利用できます。手紙には、住所、氏名、連絡先を必ず書いてください。